

社会福祉施設の労働災害防止研修会を開催しました

土浦労働基準監督署は、介護福祉施設などの社会福祉施設における労働災害を防止するため、下記のとおり研修会を開催しました。

研修会では、中央労働災害防止協会関東安全衛生サービスセンターの「中小規模事業場安全衛生サポート事業」を活用し、安全衛生管理の専門家や腰痛予防の専門家を招いて、研修を行いました。研修会には、社会福祉施設の施設長や事務長などの管理者が約20名出席しました。

記

- 1 開催日時 平成29年1月24日（火） 午後2時00分から午後4時30分まで
- 2 開催場所 土浦市勤労者総合福祉センター（ワークヒル土浦）
- 3 内 容

(1) 社会福祉施設における労働災害防止対策の進め方（講義）

講師 中央労働災害防止協会関東安全衛生サービスセンター
所長 松葉 斉 氏

(2) 腰痛対策としての介助方法と腰痛予防体操（講義・実技）

講師 東京大学医学部附属病院 22世紀医療センター
理学療法士 川又 華代 氏



全国及び県内の社会福祉施設における休業4日以上[※]の労働災害は増加傾向にあり、土浦署管内の発生件数も毎年20件以上と高止まりしている状況です。本年11月末現在では既に17件発生しており、事故の型をみると、転倒災害が最も多く7件発生し、次いで無理な動作（腰痛）が6件発生しています。労働災害を防止する上で、**転倒災害及び腰痛災害の防止対策が重点課題**となっています。



労働災害防止について、講義を行っている様子



腰痛予防のための「これだけ体操」について、実演を行っている様子